

日本語教育学研究と学習者言語研究のクロスポイント

- ◆第二言語習得研究および日本語教育研究に取り組みたいと考えている方にむけて、「研究を進めていくうえで考えたいこと、知っておきたいこと」について、2018年12月から2019年3月まで、毎月1回を目安に様々な先生方にレクチャーをしていただきます。
- ◆イベントでは参加者の方にも積極的にご発言いただくようにしたいと思います。多くの学生さんにお越しいただけたら嬉しいです。

日本語・日本語教育研究者 のためのコーパス入門： 計量的言語研究の魅力と課題



石川慎一郎氏
(神戸大学)

2018年12月21日(金)16:00~17:30 (終了後茶話会あり)

東京外国語大学留学生日本語教育センター さくらホール

【石川先生からのメッセージ】

最近、日本語の世界でもコーパスを使用した研究や教育実践が増えてきました。しかし、コーパスを正しく使用し、コーパスから意味のある示唆を引き出すには、言語研究の歴史の中でコーパスがどのように位置付けられているのか、主要なコーパスはどのような理念のもとに作られているのか、コーパスから得られるデータをどう処理すればよいのか、といった点について、正しく理解しておくことが重要です。本講演では、「これから日本語コーパスを使ってみよう」と考えておられる方々を対象に、コーパスを用いた計量的言語研究の魅力や課題についてお話しします。

参加無料 | どなたでもご参加いただけます
東外大以外からのご参加も大歓迎です☺
お申込みはこちらから <https://goo.gl/22yvKh>

